

## 巻頭言

## 共創の重要性

## The Importance of Co-creation

執行役員  
開発本部副本部長

谷口 純  
Jun Taniguchi



自分の机上には「創」という一文字が飾ってある。これは2020年の新任執行役員セミナーにおいて、自分にとっての一文字を考えて欲しいと言われた際に選んだ一文字である。モノを創る、コトを創る、ビジネスを創る、人を創る、自身の今後の活動において、「創る」という事が最も大事だと考えたからだ。

過去に自身が設計者としてコマツで携わった製品は多岐にわたる。産業用ロボットコントローラに始まり、FA向けタッチパネル、タッチパネル情報端末プラットフォーム、プロジェクタサーバ、建設機械用マルチモニタ、鉱山機械用KomVision、ICT建機など、全くビジネスにならなかったものから、製品化の直前に難解な不具合に見舞われたものなど、開発は常に苦難の連続であったが、幸いなことに常に新規性の高い製品を創るという事に携わる事ができた。

これまで自分の先輩方が創り上げた代表的なイノベーションとしてKOMTRAX、AHS、ICT建機、ハイブリッドショベルがあげられるが、これらすべてが苦難を超えて創り出したものであり、更には共創で生み出されたものと認識している。KOMTRAXは当時のビッグレンタルが採用してくれなかったら世に出ていなかったかもしれないし、AHSは当時のモジュラーマイニングシステムズ社のディスプレイシステムとの連携が無ければ成立しなかったであろうし、ICT建機はT社との協業無しでは世界初の製品として世に出す事が出来なかったし、ハイブリッドショベルもP社との協業によって自社でのキャパシタ量産化が実現したと言える。

先日、世界最大のテックイベントであるCESに参加した。コマツは月面建機、水中建機、電動建機とイノベティブな展示を実施した。初出展という事も非常に注目を集め、国内外のメディアにも多く取り上げて頂いたが、これらの製品もさまざまな協業によって創られている。他社の展示においてもSDV、AI、EVといった新技術をグローバルな協業で創り上げた製品が多く見られた。我々もオープンイノベーションを提唱してから数年が経過しているが、未だ道半ばであり、今後もさまざまな共創が必要だと感じている。

コマツのアイデンティティーは「ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、人、社会、地球がともに栄える未来を切り拓く」であり、価値観の一つとして「共に創る」というものがある。「多様な価値観で個性を認め合い、互いに敬意を持ち、Win-Win精神で協働することで新たな価値を創出する」というものだ。まさにこれが今の開発部隊において重要な事だと強く思っている。